

平成 20 年度
事業計画書

(平成 20 年 4 月 1 日 ~ 平成 21 年 3 月 31 日)

財団法人 大阪デザインセンター

平成 20 年度 事業計画の概要

わが国の景気は、サブプライムローン問題による米国の景気減速や円高が企業実績を悪化させ、急激な原油や鉄鉱石といった原材料価格の高騰などによる物価上昇が個人消費を落ちこませるなど、先行き不透明感が増している。

とりわけ、中小企業においては、原油など輸入原材料が値上がりしているにもかかわらず、販売価格に転嫁できないなど極めて深刻な状況となってきた。

このような逆風のなかで、中小企業が健全な発展を遂げていくためにはデザインを攻めの戦略に向けた経営資源と位置付け、高付加価値や市場競争力の強化につとめ、収益力を高めることが求められている。

当センターとしても、このようなデザインの重要性に鑑み、中小企業に対する「デザイン活用支援」や大阪産業創造館との連携の下、「デザインビジネスマッチング展」に一層積極的に取り組むとともに、昨年度に財団法人日本自転車振興会（現 財団法人 JKA）と大阪市の補助事業として実施した「インターンシップ支援事業」についても、将来のデザイナーを育成する観点から引き続き実施する。

また、当センターは、2010 年には創立 50 周年を迎えるため、「創業 50 周年記念事業企画委員会（仮称）」を設置し、その中で 50 周年に相応しい記念事業が行えるよう、具体的内容について検討を進める。

さらに、従来からセンターの自主事業として取り組んでいるグッドデザイン商品の選定・展示事業をはじめ「大阪デザイン振興プラザ事業」、「調査・情報事業」などの諸事業についても、一層積極的な事業展開につとめるとともに、各事業の実施にあたっては、関係官庁、関係機関・団体とも緊密な連携を図り実施する。

・事業の重点目標

1. 中小企業のデザイン振興
2. デザイン業界に対する支援
3. デザイン情報の収集と提供

・事業計画

1. 「大阪デザイン振興プラザ」事業

大阪デザイン振興プラザ（以下「プラザ」という。）を大阪におけるデザインビジネスの拠点とするため、デザイナーの「育成」、新しいデザインを造り出す「情報発信」、デザインに関わるヒト、モノ、コトの「交流」を目的に次の事業を積極的に推進する。

（１）デザインビジネスプロモーションセンターの運営

デザイン導入による中小企業の活性化を促進するため、デザイン相談・指導、デザイン事務所の紹介、専門アドバイザーの派遣・指導など、企業とデザイン業界のビジネスマッチングに積極的に取り組む。

また、大阪産業創造館と連携して実施している「デザイン個別相談会」についてもニーズに応えるため、本年度も引き続き実施する。

（２）デザイン工房の運営管理

新進・企業デザイナーなどの育成とデザインビジネスを支援するため、一層適切な「デザイン工房」の運営につとめる。

特に、デザイン工房については、その有効活用を図るため、デザイナーの入居募集を積極的に行う。

（３）イベント企画、ライブラリー、データバンク等の管理

「プラザ」がデザイン情報の発信拠点としての機能が発揮出来るよう、セミナー、シンポジウムなどのイベント企画・実施をはじめ、ライブラリー、ショーケース、データバンクなどの管理を一元的に行う。

上記事業のうち、（１）については大阪市、（２）及び（３）はアジア太平洋トレードセンターからの受託事業である。

2. グッドデザイン商品の選定・展示事業

本事業は、デザインの観点に基づき優れた商品を選定することにより、市民生活への貢献と産業の発展に寄与するとともに、グッドデザイン商品の開発に関わる企業の育成を図ることを目的として実施する。

(1) 審査・選定

国内外で販売されている商品を対象に、住・生活環境デザインと工業デザインの部門別にそれぞれ年2回の審査会を開催し、申請商品の中からグッドデザイン商品の選定を行うとともに、審査会毎に部門別の最優秀賞、優秀賞、中小企業優秀賞を選び表彰する。

さらに、年間を通じて特に優れた選定品は、年間賞として、近畿経済産業局長賞、大阪府知事賞、大阪市長賞を、また、社会性・環境性を重視した商品にはセンター会長賞を授与する。

(2) グッドデザイン商品の展示

デザインショーケースにおける展示

グッドデザインに選定された商品は、各部門審査会ごとに「プラザ」内のデザインショーケースにおいて、選評、商品の特性などを紹介のうえ、2ヶ月間の展示を行う。

特別展示会の開催

グッドデザイン商品をより多くの消費者に紹介するため、選定商品のうち、部門別賞、年間賞受賞商品については、次により展示会を開催する。

- ・開催時期 平成21年2月(予定)
- ・開催場所 心齋橋 クリスタ長堀 滝の広場
北浜 大阪証券取引所 アトリウム

(3) グッドデザイン商品の広報活動

当センター機関誌である DESIGN LINK OSAKA に掲載するとともにホームページ上で紹介する。

また、報道機関に対して、これら商品の紹介とPRのための掲載依頼を行う。

(4) 事業改革案の作成

昨年、本事業の今後のあり方を検討することを目的に設置した委員会より、「改革の方向性」が示されたため、本年度はこの方針に基づき改革に向けた具体案を作成する。

3. 研修・教育事業

(1) 「インターンシップ支援事業」の実施

本事業は、将来のデザイナーを育成を図るため、学生にデザイン事務所での就業体験を通し、デザイナーとしての知識や技術を習得させることを目的に、昨年度から、(財)日本自転車振興会 現 (財)JKA と大阪市の補助事業として、実施したが、参加学生から高い評価を得、また応募校から事業の継続を求める要望が強いことから引き続き実施する。

(2) デザインマネジメントフォーラムの開催

デザインマネジメントに対する理解を深め、企業や各組織において、デザインを経営戦略要素として積極的な活用が図れるよう、中小企業経営者やデザインマネージャーを対象に、有識者やエクセレント企業の専門家による公開フォーラムを開催する。

- ・開催時期 平成20年10月(予定)
- ・開催場所 大阪産業創造館

4. 調査・情報事業

(1) 「DESIGN LINK OSAKA/中小企業のためのデザイン情報誌」の発行

経営資源としてのデザインの重要性を広くPRするとともに中小企業におけるデザイン活用促進の一助とするため、企業経営におけるデザインの導入事例、新製品開発事例、デザイン事務所などを紹介し、さらにはデザイナー、学識経験者によるデザイン諸問題への意見や提言などを内容として、年4回発行する。

(2) デザイン事務所データベースの整備と運用・管理

現在データベースに登録されているデザイン事務所及び各種デザイン関連情報の整備・充実につとめ、その活用の促進を図るとともに、データベース拡充のため新規登録事務所の募集に積極的に取り組む。

上記事業のうち、(1)については大阪市からの受託事業である。

5. 中小企業に対するデザイン活用支援事業

中小企業において、デザインの一層の活用が図れるよう、大阪産業創造館との連携の下、

- (1) デザインの活用による新製品・高付加価値化製品の研究・開発に取り組んでいる企業やグループに対して、デザインの側面から積極的な支援を行う。
- (2) デザイン開発に結びつく商談の成立を目指し、経営資源としてデザインの効果的な活用を検討している企業と、新たにクライアント先を求めているデザイン事務所との出会いの場を提供するため、本年度も引き続き「デザインビジネスマッチング展」を開催する。

6. 創立50周年記念事業企画委員会(仮称)の設置

当センターは、2010年(平成22年)に創立50周年を迎えるため、「創立50周年記念事業企画委員会(仮称)」を設置し、その中で記念事業の具体的内容について検討を進める。

7. デザイン団体支援事業

事務局業務を受託している在阪6デザイン団体の活動が円滑に推進できるよう適正且つ迅速な事務処理を行うとともに各デザイン団体の支援と団体間の交流につとめる。

8. その他の事業

(1) 第2回「エコ・プロダクツデザインコンペ」実行委員会への参画

優れた環境配慮型商品の商品開発並びにその商品開発に携わるデザイナーの育成を図ることを目的に、第2回「エコ・プロダクツデザインコンペ」が実施されるため、本年度も本コンペの実行委員会に参画し、その運営に協力する。

(2) 商工経済団体との連携強化

大阪商工会議所、大阪府中小企業団体中央会、大阪府商工会連合会、大阪市工業会連合会などの商工経済団体との連携を強化し、諸事業の積極的な展開を図る。

(3) 賛助会員の加入勧奨

委託料などの収入が減少する中、健全な財政運営を図っていくためには、自主財源である賛助会費収入の安定的な確保が不可欠であるため、引き続き、センターが行う諸事業を通して、積極的な加入勧奨につとめる。